

【誰もが「生きていてよかった」といえる街づくり】

ぽぽだより No.152【HP版】

2015年1月25日発行

認定特定非営利活動法人 NPO ぽぽハウス

NPOぽぽハウス設立 15周年
あったかファミリーステーション「ぽぽハウス」
開所 10周年

「ぽぽハウス」の「ぽぽ」は…
たんぽぽの「ぽぽ」
一步一步の「ぽぽ」
鳩ぽぽの「ぽぽ」

新年明けましておめでとうございます

本年は元日より寒い日々が続き、駐車場の除雪も大変でした。NPOぽぽハウスが彦根で産声を上げて16年目を迎えます。

思い起こせば何もわからず必死で夜中まで書類作りに没頭していた初期事業が次から次へと広がって行き、気が付けば会員も百人近くの大所帯となりました。集団が大きくなるに従い「希薄になっていくような気がする仲間意識」を課題に感じ、各部門の活動を知るためや気持ちを共有するための代表者委員会等会議もふえてきました。

その上、このたびの諸制度変更により、高齢者も子ども達も大きくゆらいでいます。ここで私達も再度原点に立ち戻り、これからの道筋を見い出してゆきたいと考えています。今後もいろいろと御心配をおかけすることがあると思いますが、何卒よろしく御支援をいただきますようお願い申し上げます。

理事長 山脇 吟子

日中一時支援事業集団活動プログラム

遠くのカルタも手をのばせば、「はい！」

ひろば『高齢部』



〈今月の中面〉 ○児童発達支援等
○高齢者デイサービス
〈裏面〉 ○ヨガ教室・サロン

「チャレンジャー」

みんなで「羽子板」
作ったよ！！



何の絵を
書こうかな？



発行 認定特定非営利活動法人

NPO ぽぽハウス

発行責任者 山脇 吟子
住所 〒522-0043 彦根市小泉町 300-9
サンロードビルⅡ 2F
TEL (0749)27-9777
FAX (0749)27-9888
popohouse@nifty.com
HP <http://www.popo-house.jp/>



居宅介護支援 … ケアマネージメント
訪問介護事業 … ヘルパー派遣・行動援護・通院乗降介助
ひろば事業 … 高齢者デイサービス・宅老
児童発達支援事業・放課後等デイサービス

あったかホーム
「ぽぽハウス」

ぽぽ相談室 … 特定相談支援・障害児相談支援
はばたき … 児童発達支援事業・放課後等デイサービス
子育て支援事業 … ハビネスあそびひろば・ぽぽあそび隊
むぎゅむぎゅタイム・彦根市委託事業
(すくすく教室・のびのび教室)

彦根市北老人福祉センター(ハビネスひこね)指定管理
NPO 活動部 … 渉外・地域市民活動
車輦部

※詳しくは事務局まで
お問い合わせ下さい！
(TEL27-9777)

ヨガ教室 PART6<ご案内>

開催日 1月15日(木)2月12日(木)
3月12日(木)
いずれも13:00~(1時間程度)
会費 1,500円(一括前払い)
持ち物:タオル、ヨガマット、飲み物
★定員は15名。先着順です。

ほんわかサロン<ご案内>

開催日 1月20日(火)
2月18日(水)
3月18日(水)
いずれも10時~12時
参加費 300円
開催日の2日前にご連絡下さい。

~訂正とおわび~

ぽぽだより151号12月20日発行号の中で「ヨガ教室」の時間が13:30~とありました。正しくは13:00となります。訂正してお詫び致します。是非ご参加下さい！！

私たちの活動を応援して下さい！！

お誕生日会の様子



NPOぽぽハウスでは、地域づくりとして介護・福祉・子育て等様々な取り組みをしています。皆様に支えられて今後もさらに展開していきたいと思っております。

これからもご支援いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

NPOぽぽハウスの寄付はこちらまで。

振込先 (ゆうちょ銀行)
認定特定非営利活動法人 NPO ぽぽハウス

口座記号	口座番号
00980-4	130131



今年もどうぞよろしくお祈りします！！

今回は、あらためて法人の「児童発達支援・放課後等デイサービス多機能型」の「児童発達支援」の取り組みをご紹介します。

「ばぼハウス」「はばたき」の二か所の事業所を運営しています。どちらも『児童発達支援・放課後等デイサービス多機能型』のサービスを提供しています。

児童発達支援というのは、就学前の在宅の障害児を対象に「療育」を提供しその子なりの成長をサポート、フォローします。



では「療育」って？

この年齢期は、障害のあるなしに関わらず、周りの人に見守られいろいろな外からの刺激や情報をキャッチし、あらゆる「五感」が芽生え育ち、「身辺自立(排泄、食事、健康等々)を身につけていく」「人と関わることに必要なコミュニケーションスキル」の『個』の力が育つ課程の時期です。



「療育」ではその力を育むためにその子の障害を理解し、弱い部分や困っている部分をフォローしプログラミングしながら保護者や関係機関と共有し成長を促していきます。

「ばぼハウス」では、高齢者デイサービスとフロア続きなので児童発達支援で来所している子どもが、高齢者の方のほうへフロアを行ったり来たり。高齢者の方々からは、無償のまなざしでその子の気持ちの安定を図るウロウロを見守ってくれています。また時には、ばぼキッズルームの保育にきている子どもたちのあそびに興味を

示し、「集団」(他児・仲間)を意識する様子が見られます。

「はばたき」では、施設の広々とした活動室の中で、在宅では運動量が確保しにくい子どもの総合感覚あそびが展開されています。同法人のあそびひろばへ出かけたり、子育て支援部の活動に参加するなど、はばたきでも同世代の他児との関わる場面もプログラムに入れています。また施設周りの自然の環境一川沿いの遊歩道の散歩、小高い丘の公園一などの恵まれた環境を活かしています。

どちらの事業所も、「その子の生活の豊かさや生活の充実を育みたい。」またその先にある、『集団の中で過ごすことで「生きにくさ」を柔軟に対処していけるような子どもの力の芽生えを育てたい』と願い取り組んでいます。



みんなでうたおう！！



お誕生日会でのプレゼント！！

「高齢者デイサービス」 ～目標にむけて～



私たち高齢部では、目標をたて、達成に向けて職員一同日々の業務に励んでいます。今年度の目標の一つとして『職員の資質向上を目指す』ということを目指しました。このことは、今後のばぼハウスデイサービスを考えていくうえで、大切な事で今年度は特に力を入れて取り組んでいます。

それぞれ職員が〈認知症ケア〉〈介護技術研修〉〈リハビリ研修〉など、その他にも多くの研修に参加し勉強してきました。



みんなでラジオ体操



手が床に届くかな？

前年度の研修参加数と比べると比べものにならない程の数です。勉強してきた内容は、後日勉強会を行い、他の職員と学びを共有しています。

すると、少しずつ職員に変化がみられてきました。今まであたりまえに感じていたケアに対し、『もっとこうしてみてもいい？』と考えられるようになったり、使用している杖や老人車のことで、『本当にこの方にあっているのだろうか？』と気づき、ケアマネージャーと連携をとる場面もあります。そして杖や老人車の使い方ももっと勉強したい！という意見が職員からでてきて、それに対してこれまで以上に内部研修をひらこう！ということになりました。それにより色々な問題に対し、職員同士で意見が飛び交う事も増えてきました。

他にも、ある職員が利用者様の歩行状態や視野がいつもと違うことに気がつき、異常の早期発見につながったこともありました。

研修や勉強会で学んで得た知識や技術のおかげで『根拠あるケア』『その方を中心に考えたケア』をこれまで以上に意識し考え、職員の「気づく力」「実践する力」が育ってきています。今後も学びを深め共有し、職員のスキルアップに励んでいきます。そしてそれを土台に、利用者様が安心かつ満足して楽しんでいただけるようがんばります。

今後も新しいおでかけ企画やイベントを予定しています。また利用者さまからの『あそこに行ってみたい・やってみたい』のリクエストもお待ちしています！職員はもちろん利用者様も、みんなでばぼハウスデイサービスをつくっていきたくらいです！

